

ねえひよちゃん

青沼貴子

2201

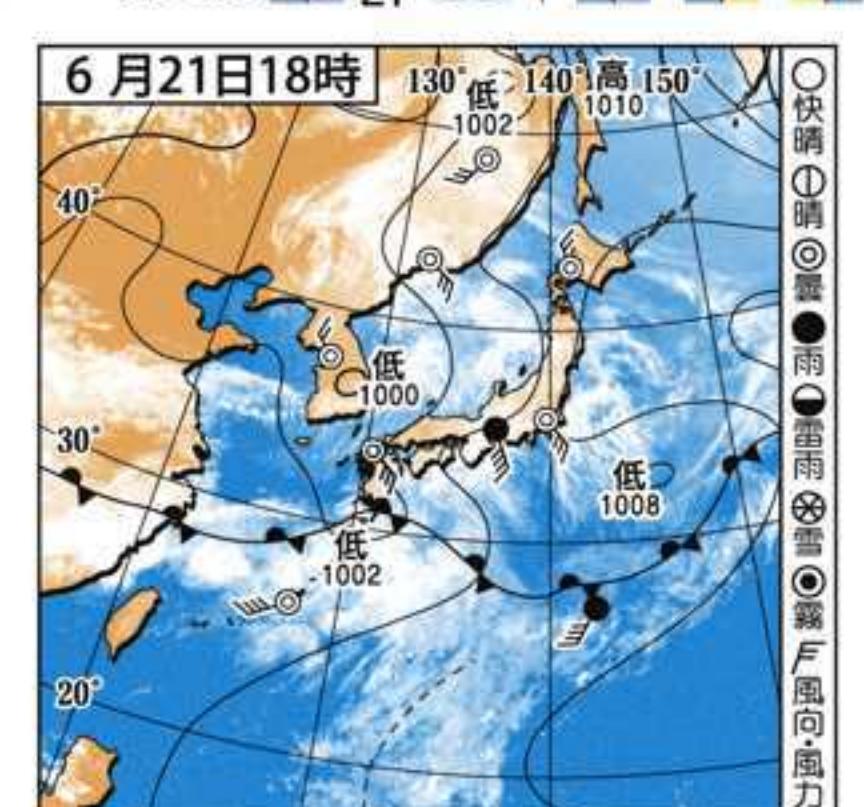


ニュースはホームページでも
TOKYO Web

1.5℃の約束

世界の平均気温の上昇を産業革命前から1.5度に抑えることが国際的な目標です。東京新聞はSDGメディア・コンパクト加盟社として国連との共同キャンペーンに参加しています。

| 全国の天気 | きょう | 降水確率 | 23(金) | 24(土) | 25(日) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 札幌 | 24 20 | 23 16 | 24 16 | 24 16 | 25 16 |
| 仙台 | 23 60 | 23 19 | 23 19 | 23 19 | 23 19 |
| 金沢 | 24 60 | 24 20 | 24 20 | 24 20 | 24 20 |
| 東京 | 23 90 | 23 20 | 23 20 | 23 20 | 23 20 |
| 名古屋 | 21 90 | 21 18 | 21 18 | 21 18 | 21 18 |
| 京都 | 23 80 | 23 20 | 23 20 | 23 20 | 23 20 |
| 大阪 | 25 80 | 25 19 | 25 19 | 25 19 | 25 19 |
| 広島 | 21 50 | 26 21 | 26 21 | 26 21 | 26 21 |
| 福岡 | 23 10 | 23 23 | 23 23 | 23 23 | 23 23 |
| 那覇 | 30 60 | 30 27 | 30 27 | 30 27 | 30 27 |



ピアノの音に合わせてホールを動き回す

子どもたちもいる豊島区目白で



住宅街にひっそり名建築

「ソルフェージスクール」

豊島区目白の閑静な住宅街に、日本を代表する建築家が設計した音楽教室がある。建築家は文化功労者にもなった吉村順三氏(1908~97年)、教室は氏の妻が開校した「ソルフェージスクール」。ここで海外仕込みの珍しい指導法を半世紀以上、伝えてきた。ホールを備え、文化財登録の申請も検討中という教室をのぞいた。



五線譜・音符や記号の模型を置いて、楽譜を学ぶ子どもたち

動き
回って

音楽は友達 独自レッスン 音符を並べ

「しーろ、くろ、くろ、まるちゃんはねちゃん」

J R目白駅から北西へ徒歩10分。住宅街に紛れ込むように立つ教室を訪ねると、3階ホールで津布楽杏里講師(45)が不思議な言葉を4、5歳の生徒に向けていた。それに合わせて子供らは数秒おきに片足ずつ前に出したり、歩いたら走ったりと楽しそう。

全音符を「まるちゃん」、四分音符を「くろちゃん」などと拍に応じて名前を変え、呼び掛けに応じて体を動かす。子供の体にリズムが染み込んでいく。

1961年、現理事長吉村隆子さん(76)の母で米ジュリアード音楽院初の日本人留学生となったバイオリニスト大村多喜子さん(2012年死去)らが市ヶ谷駅周辺で開校した。2度の米国留学で基礎教育の大切さを痛感し、現地の指導を持ち込んだといふ。

現在の目白に校舎を建てたのは1967年。吉村氏が妻のために設計した。2人は日米開戦の直前、米国から帰国する船内で出会い、結婚。まるで朝ドラ



3階にホールも備えたソルフェージスクールの建物と吉村隆子理事長

のようにならぬぞめだ。

建築家の夫、音楽家の妻がつくった学びやは鉄筋3階建て、延べ床面積は297.3平方㍍。1階に職員室、2階に四つのレッスン室、3階に約85平方㍍のホール。住宅街なので日照規制を理由に屋根は斜めにしてあり、天井の音響効果が良い。ホールは120人まで収容でき、一流奏者や生徒の演奏会も頻繁に行う。戦後日本のモダニズムを代表する建築家が手掛けた音楽教室といふ希少性に鑑み、登録有形文化財の申請を検討し始めた。

ここで教えるソルフェージとは、フ

ランスやイタリアなどで数百年行われている音楽の基礎教育。楽譜からメロディーをイメージし、聴いた音楽を楽譜にできることを指す。

教室には他にも独自の指導法があるという。

講師が口ずさむメロディー通りに音譜の模型を並べるレッスン。間違えてもずらせば修正でき、講師がメロディーを変えれば、また考えて並べる。紙に書いたり消したりしないため、鉛筆を持ってない幼児でもできる。吉村氏は音譜の模型もデザインしたといふ。方法論が独特としてスクールは公益財団法人認定を受けている。



ホールで講師や生徒によるコンサートも

「講師の先生方が熱心。先生同士も高め合っている雰囲気があり、ここを選んだ」と10歳と5歳の娘を通わせる区内の団体職員山本木綿子さん(47)。長女(4)を通わせる区内の主婦中津留友子さん(48)も「たとえプロとか目指さなくても、音楽に親しむことを重視する指導がいい」と話す。

ここからドイツのシュツットガルト室内管弦楽団で首席ピオラ奏者だった林徹也さんや、米国を拠点に活躍するバイオリニスト亀井由紀子さんらが集まつた。

ただ、ソルフェージを体得するまで幼児は2年ほどかかるケースもある。

「すぐに楽器を奏でられるようにして」と望む保護者には指導が合わないこともあるといふ。

吉村理事長は話す。「基礎があつてこそ本物の音楽家が生まれ、アマチュアにとっても音楽が一生の友になる。楽譜を見て即興で世界の人と合奏できるようになれば楽しいし、音楽を通じて人生が豊かになる」。生徒に年齢制限はなく、見学も歓迎しているといふ。

TOKYO 発

文・井上靖史
写真・佐藤哲紀、井上靖史
紙面構成・太田博泰

私の東京物語



ラズウェル細木

全10話

運勢

松風庵主



22日(先負)

筆者がよく散策した胸突坂=文京区で(筆者提供)



坂道が好き過ぎて…

一九八〇年代後半、イラストと漫画両方を手掛けるようになってから早稲田の都電の駅に近いワンルームマンションで一人暮らしをしておりました。早稲田は新宿や池袋に近く、その気になれば歩いていくこともできるほど便利な街です。さらに、近辺は東京の特徴でもある起伏に富んだ地形が見られ、そんなとからうよく散策をしました。

「胸突坂」を上つて自白通り抜けコース。

「胸突坂」は神田川沿いに水神社と、椿山荘の庭園に隣接する関

石段の坂道です。

一方を手掛けるようになってから早稲

田の都電の駅に近いワンルームマンシ

ヨンで一人暮らしをしておりました。

早稲田は新宿や池袋に近く、その気

になれば歩いていくこともできるほど

便利な街です。

さらに、近辺は東京の特徴でもある

起伏に富んだ地形が見られ、そんな

とからうよく散策をしました。

「胸突坂」に入つてからは、早稲田か

ら坂道が好き過ぎて…

坂道が好き過ぎて…

坂道が好き過ぎて…